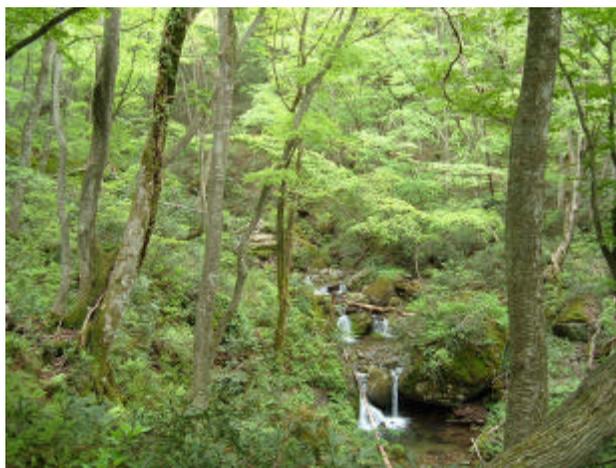


島根大学汽水域研究センター主催 ミニ・フォーラム

今、中海・宍道湖の自然再生について考える



2005年8月19日(金) 18:00 - 21:00
松江テルサ 4階大会議室 (資料代: 500円)

水辺の再生の鍵を握る波浪と水位の役割
ヒューホ・コープス / 島根大学汽水域研究センター客員教授

霞ヶ浦における湖岸の自然再生
中村圭吾 / (独)土木研究所水循環研究グループ主任研究員

中海・宍道湖における植生湖岸整備の取り組み
湯浅丈司 / 国土交通省出雲河川事務所水環境課課長

総合司会 國井秀伸 / 島根大学汽水域研究センター長

自然再生推進法が施行されて2年以上がたちました。自然再生は、地域住民をはじめとする多様な主体が協働して進める事業とされていますが、中海・宍道湖での動きはどのようなものなのでしょうか？かつての中海・宍道湖の豊かな生態系を取り戻すために、私たちは今、何をすべきなのでしょう？ラムサール条約に登録されようとする両湖を、どのような姿にすべきか、そのランドデザインを今こそ考えなければなりません。このフォーラムでは、オランダと霞ヶ浦の先進例に学び、これからの中海・宍道湖の自然再生事業のあり方について、語り合いたいと思います。

参加希望者は、8月15日(月)までに、氏名と連絡先(電話番号とEmailアドレス)を、下記申し込み先までご連絡願います。

事前申し込み先: 島根大学汽水域研究センター Te& Fax: 0852(32)6099 Email: kunii@soc.shimane-u.ac.jp

共催/島根大学汽水域重点プロジェクト・国土交通省出雲河川事務所・大橋川を勉強する会